

感謝錄

年 7 月

[illegible]

※葉書については2、7ページ参照

感謝の言葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 長岡 英司



日本点字図書館関係者一同の感謝の気持ちを込めて、本冊子をお届けいたします。お寄せいただいた尊いご厚志に、心より感謝申し上げます。

昨年の晩夏、複数の全国紙と40を超える地方紙に、当館に関する大きな記事が掲載されました。昭和の文豪や著名人からの直筆の手紙が多数残されていることを報じた記事です。1970年の著作権法改正以前、当館では、著作者に点訳や録音の許諾をお願いしていましたが、それに対する回答の手紙が保存されていたのです。古い資料の中から見つかったこの多数の葉書等を、一通ずつ関係資料と照合して記録を作成する地道な作業に、文化資料室が着手したのは2018年でした。そうして整理・保存された全1,958通の手紙の存在が、共同通信や読売新聞によって広く全国に紹介されたのでした。

文面からは、川端康成「拙作が点訳のお役にたてば幸いです」、大江健三郎『『個人的な体験』の件、承知いたしました。よろしく、御使用下さいますよう」、井上ひさし「これからも盲人の方たちのお力になってあげてください」、灰谷健次郎「重いものはわけあって背おって欲しいという福井達雨さんのことばを折にふれかみしめています」、三浦綾子「録音ご奉仕が祝されますように祈り上げつつ」などなど、点訳・朗読事業に対する作家の方々のご理解が伝わってきます。こうした思いや期待に応えて当館が事業を続けることができおりますのは、ひとえに皆様方からの種々のご支援のお陰でございます。

さて、新型コロナウイルスの感染法上の分類が、5月に季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられ、ようやくコロナ禍の収束を実感できるようになりました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵略をはじめとする国際的な対立の激化で、世界は新たな懸念に包まれています。その影響の一つとして、物価の高騰が日本社会では深刻な問題となっています。当館でも、電気料金や資材・機材の大幅な値上げが経営を強く圧迫しております。社会全体が厳しい状況にある中で誠に心苦しく存じますが、当館の事情をご理解いただき、引き続きのご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

2022 年度事業のあらまし

館 長 立花 明彦



2022 年度、当館は理事長・館長が交代し、新たな体制での運営を始めましたが、3 年目を迎えた新型コロナウイルスによる感染は収束の見通しがつかず、爆発的な感染を繰り返し、当館の事業やサービスにも影響を与えました。事業運営やサービス提供は、前年度に引き続き従来とは異なる方式で実施せざるを得ず、利用者の皆様にご不便をおかけすることとなりました。一方で、状況を注視しながら、一部のイベントは対面で開催することができ、外部の催しへの出展依頼にも少しずつ応じられたことに安堵しています。

国際秩序を崩壊させるロシアのウクライナ侵攻は、とりわけ世界経済を混乱させ、相次ぐ物価の値上げを引き起こしました。当館では、資料等の点字化・音声化の受注額や視覚障害者用具の販売額の値上げを余儀なくされ、期待していた売上増が阻まれました。さらには光熱費の高騰は想定外の支出を呼び起こし、財政を苦しめ、次年度の予算に不安を残しています。

こうした中でも事業の根幹である図書貸出サービスでは、複数のデジタイズした図書をテーマごとにひとまとめにしてSDカード等に入れて提供する「セレクトパック企画」を年2回実施し、好評を博して昨年度を大きく上回る貸出数を記録しました。また若い世代の利用の拡大を図るために、視覚障害者を対象とする特別支援学校や大学に職員が出向き、読書や図書館利用についての啓発授業を行い、新規登録者の獲得につなげることができました。

多くの皆様に当館の事業をご理解いただきたく、施設公開の一環で年1回開催してきた大型イベント「オープンオフィス」は、コロナ禍で2020年から実施を見合わせていますが、これに代わる小規模なイベント「にってんワークショップ」を5月から3月まで毎月1回開催し、ほとんどの回で満席の予約をいただきました。

社会情勢の煽りを受け、企業や団体の運営、個々人の生活が厳しさを増しつつある中で、当館の状況や事情をご理解いただき、お力添えをくださった皆様に、ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照くださいませ。

2022 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,742 名

新規収蔵図書数：点字図書 647 タイトル、録音図書 739 タイトル

蔵書総数：点字図書 23,179 タイトル (84,946 冊)

録音図書 25,587 タイトル (50,527 巻)

貸出数：点字図書 (冊子) 5,258 タイトル、録音図書 (CD) 82,530 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 801 タイトル、録音図書 80,957 タイトル

月刊録音雑誌「にってんデイジーマガジン」を 67,051 枚配布

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 227 名、433 時間

レファレンスサービスによる情報提供数：65,418 件

図書製作事業

製作数：点字図書 162 タイトル (684 冊)、音声デイジー図書 338 タイトル (2,765 時間) テキストデイジー図書 198 タイトル、マルチメディアデイジー図書 7 タイトル (22 時間)

ボランティア数：点訳ボランティア 56 名、朗読ボランティア 46 名

デイジー編集ボランティア 8 名、テキストデイジー編集ボランティア 36 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 83 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：913 種、74,576 点

新規取扱商品：拡大読書器クローバーブック、携帯型拡大読書器ルビー 10 スピーチ、拡大読書器アイラビュー 13FHD、音声・点字携帯情報端末ブレイルセンシックスミニ、GNSS ボイスウォッチ など

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (5,947 冊) 製作、延べ 295 タイトル (977 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル製作、延べ 564 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 14 種、17,206 点

〔サピエ図書館の運営 (視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業)〕

会員数：個人会員 19,951 名、施設・団体会員 459 団体

提供数：

- ・点字データ 253,223 タイトル
- ・音声デイジーデータ 116,920 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 14,085 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 431 タイトル
- ・目録 1,214,720 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 471,421 タイトル
- ・音声デイジーデータ 延べ 4,320,850 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 延べ 265,826 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 延べ 6,506 タイトル
- ・目録検索 4,759,957 件
- ・オンラインリクエスト 246,251 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 65,418 件の情報を提供。

自立支援事業

相談支援：基本相談 410 件、計画相談 99 件

自立訓練（機能訓練）：実人数 79 名、延べ回数 2,343 回

医療機関に出向いての相談会：2 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字図書：47 タイトル（324 冊）製作、延べ 202 タイトル（744 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書：74 タイトル（370 枚）製作、延べ 2,812 タイトル（2,829 枚）貸出

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：57 名・92 件、声の図書：51 名・116 件

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設団体に対し 34,080 件の情報提供

海外支援事業

〔池田輝子基金〕

マレーシアを拠点に第 18 回池田輝子 ICT 奨学金事業をオンラインで実施。参加者延べ 19 名

〔一般社団法人霞会館助成〕

インドネシア共和国メダン市の視覚障害者支援団体「ハラパン・バル」に対し、点字プリンタ 1 台の提供と操作指導を実施。

本部事業

〔ふれる博物館〕

- ・第10回企画展「手でみる彫刻」(協力 大東文化大学、小原二三夫氏)
2022年5月18日(水)～9月17日(土)(45日間)、来場者 210名
 - ・第11回企画展「石を感じる」(協力 一般財団法人地球の石科学財団奇石博物館)
2022年11月16日(水)～2023年3月18日(土)(48日間)、来場者 204名
- 〔視覚障害関係墨字資料(奥村文庫)〕
- 新規収蔵 1,084点、来室者 713名、レファレンス 522件、複写サービス 78枚

チャリティコンサート

第20回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「武久源造 リサイタル with バロックダンス 岩佐樹里 バッハ＝躍動する命」

2022年11月27日(日) 東京文化会館小ホール 来場者 300名

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置:川崎市/指定管理事業者:日本点字図書館)

- ・利用登録者数:521名、304団体
- ・蔵書数:点字図書3,608タイトル(12,733冊)、録音図書6,579タイトル
- ・貸出数:点字図書336タイトル、録音図書7,792タイトル
- ・ダウンロード提供数:点字図書28タイトル、録音図書4,370タイトル
- ・図書製作:点字図書52タイトル、音声デイジー図書86タイトル、テキストデイジー図書5タイトル、シネマ・デイジー/音声ガイド25タイトル
- ・訓練事業:生活訓練10名、歩行訓練17名、パソコン訓練4名、ICT訓練12名、点字訓練2名
- ・用具の点字と販売紹介:展示点数387点、販売紹介点数1,215点
- ・イベントの開催:読書会、落語会、音声ガイド付き映画体験上映会、コンサート、訓練生屋外交流会、ヨガ教室 他

.....

これは、著作物を点字や音声にする際の著作権の制限について著作権法にまだ規定がなかった時代（1970 年以前）に、当館から著作権者に許諾を求めているものの返信で、葉書・封書 1,958 通が現存しています。なかには、江戸川乱歩、川端康成、三島由紀夫、大江健三郎などの有名作家、森繁久彌、王貞治など作家ではない有名著作者の手紙もあり、自筆の貴重な資料として数年前から整理をしていました。本誌表紙の写真はその一部です。

筆でしたためであったり、鉛筆だったり、筆跡も独特であったり、また、諾否だけでなく、原本の誤植を教えてください、製作するならこちらの本をとご自身の別作品を推薦してください、また当館事業への励ましのお言葉もあったりで、小さな紙片に著作者の個性や想いが表れています。

記事を読まれた方から
展示・公開を希望する声
が寄せられていますが、
これらは私信であるた
め、そのありかたにつ
いて慎重に検討を進め
ていくところです。

山口新聞 2022年8月29日

にってんワークショップを開催

コロナ禍以前、当館では一般の方々に視覚障害や当館事業について知ってもらうため、「日本点字図書館オープンオフィス」という施設公開イベントを11月に開催してきました。毎回1,000人前後の来場者がありましたが、コロナ禍以降は感染予防のため従来のような形と規模では実施ができなくなりました。そこで、2022年度は少人数制の体験型講座「にってんワークショップ」を月に1回程度開催することにしました。

テーマは、点字・読書・用具・歩行などと毎回変え、多様な興味に応えられるようにしました。募集をはじめると、10人の定員は毎回ほとんどすぐに埋まり、3回、4回、5回と続けて参加される熱心な方も一定数おられ、関心の高さがうかがわれました。

夏休みシーズンの8月には、小学生を対象として特別企画「キッズ・チャレンジ」を開催し、12組の親子に点字や視覚障害者の手引きについて学んでもらいました。

視覚障害職員の実体験に基づく講話や、当館の幅広い業務に基づく体験コーナーは、視覚障害に対する理解を多角的に啓発するとともに、視覚障害者や当館への有形無形の支援にもつながる可能性を秘めています。今後も、規模やテーマを都度見直しながら継続してまいります。



「点字」がテーマの回



「歩行」がテーマの回

◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2022 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 7,455 件 (前年度 8,035 件)
総額 111,254,854 円 (前年度 238,812,767 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	529 件	10 万円以上 50 万円未満	121 件
3,000 円以上 5,000 円未満	2,389 件	50 万円以上 100 万円未満	5 件
5,000 円以上 1 万円未満	1,991 件	100 万円以上	14 件
1 万円以上 10 万円未満	2,406 件	合計	7,455 件

2022 年度も篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、10 件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。27 団体の皆様から、合計 421,402 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名 (五十音順)	
朝日信用金庫	キリンシティ高田馬場店
味工房一醉万笑	國稀酒造株式会社
医療法人湘山会 眼科三宅病院	ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	沼袋すがなみ眼科
イル クッキアイオ ディ アンジェロ	ハイアットリージェンシー東京
植松医院	林歯科医院
NPO 法人千夜一夜座	文右衛門そば
オリンピア眼科病院	H A I R D O O R
オリンピアクリニック井上眼科	有限会社酒舗まざるや
柿島屋	横浜ロイヤルパークホテル
梶尾眼科	吉川眼科クリニック
カモシカスポーツ	リストランテ 文流
カラオケ館高田馬場店	和創さくらの庭
カラオケ館高田馬場 2 号店	

◆◆ 愛の CD・DVD・ポストカード運動へのご支援 ◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがき、ご不要になった市販の音楽 CD や DVD をご寄贈いただいております。はがきは郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に、CD・DVD は中古店に買い取っていただき売り上げを運営資金に、それぞれ充当させていただいております。

2022 年度は 102 人・4 団体様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は 455,442 円、CD・DVD の買取金額は 20,389 円になりました。

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。延べ 501 団体の皆様から、合計 9,669,173 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
ALLIANCE GATE 株式会社	観音寺
イオンクレジットサービス株式会社	北戸田東社宅管理事務室
(現・イオンフィナンシャルサービス株式会社)	劇場で出会うハートライン
一般財団法人報国積善会	晃華学園友の会
一般社団法人一乃会	宗教法人真福寺
一般社団法人全国銀行協会	真宗大谷派聞明寺
医療法人社団樹の花会 立花クリニック	清泉小学校
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	全国友の会
圓通寺	つながる募金
大西眼科	東京 I ゾンタクラブ
学習院女子中高等科図書委員会	東京第一友の会
神奈川県眼科医会	ニシフミート株式会社
株式会社偕成社	日本出版販売労働組合
株式会社高知システム開発	P F U 労働組合
株式会社清和産業	保善高等学校
株式会社高島屋友の会	三菱食品株式会社
株式会社 TAKARA & COMPANY	三菱電機株式会社
株式会社ニデック	柳川特許事務所
株式会社日本財託	有限会社 F o r Y o u
株式会社日立ビルシステム	有限会社ヤマニ大門
株式会社ブルースブラッシュ	有限会社菱和興産
河和田屋印刷株式会社	リネットジャパングループ株式会社

◆◆ 企業ボランティアのご協力 ◆◆

次の企業の社員の皆様から、休憩時間を利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙などを利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社

◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
イオンマーケティング株式会社	12	イオンマーケティング株式会社	28
株式会社イオン銀行	6	株式会社イオン銀行	7
内田 艶子	5	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
共同印刷株式会社	3	内田 艶子	5
古川 京一	2	株式会社三菱UFJ銀行高田馬場支店	4
岩本 恵子	1	ハウス食品労働組合	3
岩本 為雄	1	はんだこどもクリニック	3
株式会社ジー・モード	1	岩瀬 愛子	2
株式会社三菱UFJ銀行高田馬場支店	1	大竹 玉枝	2
点訳きつつき	1	株式会社サンセイランディック	2
日本出版販売労働組合	1	株式会社日立ビルシステム	2
匿名	1	下野 恵子	2
		匿名	2
		一般財団法人伊丹エール財団	1
		岩本 恵子	1
		岩本 為雄	1
		株式会社ニデック	1
		高木 安右衛門	1
		飛松 一樹	1
		ハーチ株式会社	1
		松井 まり子	1
		吉田 敏行	1
		匿名	1
		匿名	1
点字図書 合計 12 件	35 口	録音図書 合計 24 件	78 口
点字図書、録音図書 総計 113 口			

◆◆ 消毒薬等のご支援 ◆◆

東亜ディーケーケー株式会社から消毒薬を頂戴し、新型コロナウイルス感染予防対策等に活用させていただきました。ご支援に心より御礼申し上げます。

◆◆ 企業や団体からのご助成 ◆◆

企業・団体名	金額 (円)	助 成 内 容
イオンリテール株式会社	36,900	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
一般財団法人 NHK サービスセンター (現・一般財団法人 NHK 財団)	2,000,000	テレビ・デイジーの製作・貸出
大阪府民共済生活協同組合	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
一般社団法人霞会館	1,000,000	視覚障害者支援団体への点字プリンタの提供と操作指導（於インドネシア共和国）
公益信託久保記念点字図書援助基金	438,350	録音図書提供のための CD・SD カード複製機の購入費
埼玉県民共済生活協同組合	3,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
公益財団法人 J K A	2,421,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
全国生活協同組合連合会	3,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデイジー編集作業費
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェブ」の製作・配布
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	100,000	チャリティコンサート開催費
株式会社日本財託	161,000	備品整備・施設整備助成金
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人一ツ橋綜合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		テキストデイジー図書の製作・提供
		マルチメディアデイジー教材製作システム (ChattyInfty Online) の整備
		録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の整備
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
社会福祉法人読売光と愛の事業団	700,000	専門対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		視覚障害者就労支援のための機器購入費

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。11 団体の皆様から、合計 164,000 円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
P F U 労働組合	公益財団法人すこやか食生活協会
有限会社大橋洋紙店	株式会社西武洋紙店
株式会社偕成社	東京 I ゾンタクラブ
一般財団法人高度映像情報センター	医療法人社団中村診療所
株式会社サン・データセンター	ロクシタンジャポン株式会社
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター	

◆◆ イベント協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関紙「にってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

イオンクレジットサービス株式会社（現・イオンフィナンシャルサービス株式会社）、特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター、株式会社イオン銀行、国稀酒造株式会社、シナノケンシ株式会社、三菱電機株式会社

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション 2 棟の家賃収入をもとに、3 つの基金事業を実施しました。

1. 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデジタイズ編集により、65 タイトルの録音図書を製作。

2. ふれる博物館事業

- ・手でみる彫刻（協力：大東文化大学 小原二三夫氏）
- ・石を感じる（協力：一般財団法人地球の石科学財団奇石博物館）
- ・ワークショップ「視覚障害者向け天然顔料を作る体験会「小さな石から」」（講師：日本画家 橋本弘安氏）

3. 池田輝子 ICT 奨学金事業

2022 年 7 月 4 日～7 月 15 日 ICT 訓練中級コース 参加者 5 名

2022 年 7 月 4 日～7 月 8 日 エンパワメント講習会 参加者 14 名

いずれも Zoom を活用してのオンラインで実施。

決算のあらまし

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	28,912,114
点字図書館事業収入	519,050,783
盲人用具販売事業収入	356,443,905
マンション経営事業収入	41,348,053
本部事業収入	1,652,000
経常経費寄附金収入	124,116,631
受取利息配当金収入	4,905,953
その他の収入	9,769,688
事業活動収入計 (1)	1,086,199,127
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	339,688,565
委託・補助金事業人件費支出	233,707,848
事業費支出	370,450,134
事務費支出	103,631,242
支払利息支出	769,103
その他の支出	395,781
流動資産評価損等による資金減少額	6,037
事業活動支出計 (2)	1,048,648,710
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	37,550,417
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	20,267,500
施設整備等収入計 (4)	20,267,500
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	9,144,628
固定資産取得支出	26,221,657
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,233,488
施設整備等支出計 (5)	40,599,773
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 20,332,273
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	63,000,000
その他の活動による収入	700,000
その他の活動収入計 (7)	63,700,000
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	68,000,000
その他の活動による支出	2,843,680
その他の活動支出計 (8)	70,843,680
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 7,143,680
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	10,074,464
前期末支払資金残高 (11)	117,507,063
当期末支払資金残高 (10+11)	127,581,527

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	自立支援室開設
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020（令和2）年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

役 員

理 事 長	長岡 英司
常務理事	立花 明彦 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理 事	芦田 真吾 東京都障害者介護給付費等不服審査会委員
同	相賀 昌宏 (株)小学館会長
同	岡本 厚 前(株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	迫田 朋子 元 NHK エグゼクティブ・ディレクター
同	寺尾 徹 (社福)浴風会理事長
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監 事	野田 聖子 弁護士
同	君島 淳二 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

青木 隆一	石橋 迪子	大胡田 誠	加藤真由美
樽松 武男	小林 裕明	白井 夕子	富田 清邦
福島 智	星川 安之	本間 一明	増渕 路子
渡邊 岳	和波 孝禧		

後援会長 阿刀田 高 (作家)

(敬称は省略させていただきました)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代 表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 00180-2-792949 (寄付専用・手数料免除)

加入者名：社会福祉法人 日本点字図書館

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通	2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通	92380
三菱UFJ銀行	高田馬場駅前支店	普通	167456



口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク) ニッポンテンジトショカン